

## 2014（平成 26）年度自己点検・評価報告書の公表にあたって

全学自己点検・評価委員会委員長  
学 長 馬場 善久

『2014（平成 26）年度自己点検・評価報告書』を公表するにあたり、自己点検・評価活動の概要について一言ご紹介申し上げます。

2014（平成 26）年度は、公益財団法人大学基準協会（以下、協会）による大学評価（認証評価）を受け、協会が定める大学基準に適合していると認定されました。認定期間は、2015（平成 27）年 4 月 1 日から 2022（平成 34）年 3 月 31 日までの 7 年間です。

評価結果には、協会が定める基準のうち「教育内容・方法・成果」、「学生支援」および「教育研究等環境」に関する取り組みについて、「長所として特記すべき事項」として取り上げて頂きました。

「教育内容・方法・成果」においては、共通科目のラーニング・アウトカムズを策定し、シラバス上で各科目との関連性を明示し、各科目とそのアウトカムとの対応関係を確認して、達成度の指標を開発していることを、先進的な取り組みとして高い評価を受けました。

2014（平成 26）年度は、自己点検・評価項目の主たるテーマとして、共通科目にとどまらず「専門科目におけるラーニング・アウトカムズの測定状況」を掲げました。学部によって進捗状況は異なるものの、それぞれが着実に学習成果の可視化を推進することができました。

本学が公表している「内部質保証ポリシー」には、「建学の精神を堅持し、永続的に発展するためには、自己点検・評価活動が円滑に改善・改革につながるよう、恒常的・継続的なプロセス、いわゆる内部質保証システムを構築することが重要である」と示しております。本年は認証評価申請に多くの時間を費やしましたが、並行して 2014（平成 26）年度自己点検・評価作業を行い、その結果を報告書としてまとめて公表できたことは、内部質保証システム強化に向けて、大きな一歩を踏み出せたと言えます。

創立 50 周年（2020 年）を目指して策定したグランドデザインは、現在第 2 ステージ（2013～2016）を迎えております。グローバル社会で活躍する「創造的人間」を育成するため、多くのアクションプランを着実に実行に移しております。

真の評価文化を確立させるため、これらの一つ一つの活動においても適切に点検・評価を行い、改善・改革につながる継続的・恒常的プロセス構築を目指し、内部質保証システムのより一層の充実を図って参ります。

最後になりますが、日頃からの本学へのご支援に感謝申し上げますとともに、本報告書をご高覧頂き、本学の活動に対して皆様の忌憚のないご意見を伺うことができれば幸いです。

2015 年 4 月